

野坂龍 野坂婦人運動家。明治二十九年兵庫縣生れ、昭和四十六年八月十日歿（二八六—一九七二）。東京女子高等師範學校文科卒。大正八年野坂參三と結婚し、夫のイギリス大留學に同行。歸國後婦人運動に加はり、昭和二年關東婦人同盟執行委員長となる。翌年三・一五事件（共產黨員一齊大檢舉）を逮捕。釋放後の五年夫と共にソ聯に亡命し、二十一年歸國。第六回黨大會で中央委員、婦人部長に任じた。

著譯書 『最近の獨逸研究』（野坂龍子名、合著・表境社編、大正十一年一月十八日）『松堂書店』、『若い人々』（合著、昭和二十二年十一月一日大阪・共同圖書出版社）、『カシンの少女イーナ・コンスタンチノワの日記と手紙』（野坂のちのち名、譯、昭和二十七年七月五日五月書房）等。